

特集：人気の散歩道を歩こう！



愛される道には物語がありました。

市民ならずとも一度は訪れたい定番の散歩道を、季節の移り変わりを感じながら歩いてみませんか。古い歴史を誇る「氷川参道」から、桜で有名な「大宮公園」を経て、緑豊かな文化の薫り高い「盆栽村」へ。さいたま市では、この大切な空間を守り育てるまちづくりを進めています。

氷川参道

お祭りや行事ではない
普段着の参道で新しい発見

さいたま新都心のにぎわいを背に、中
山道を大宮駅方向に歩くと、やがて、行
く者の足取りをその奥へと誘う、一直線の
緑あふれる道に出合います。それが、二ノ
鳥居から大宮氷川神社まで約2キロメー
トルにわたって続く氷川参道です。

風格あるケヤキ並木を少し歩いていく
と、途中から歩道が整備されて、ゆったり
と歩きやすくなります。実はこれ、参道
の木々を守り、安全に歩ける道にしてい
こうと活動している市民団体「氷川の杜
うるおいのあるまちづくり推進協議会」

とさいたま市が、計画段階から協働で取
り組んで実現できた道なのです。

段差や柵を設けずに、視覚的に分離す
るだけで、わずか6メートルあまりの道幅
に歩道の空間を確保しました。

「今回はあくまで暫定です。将来的に
は歩行者専用道路にして、次代に誇れる
安全で快適な道にしたい」と語るのは、
協議会員であり、参道で遊び育った辻
益行さん。西区から協議会に参加してい
る池田妙子さんは「車を避けるために、
樹木の根元を踏み固めて歩いていた人が
減って、参道の木々にもやさしい道になり
ました」と話してくれました。「
カフェや手づくりの店などを散策しな



がらたどり着いた「平成ひろば」では、散
歩中にひと息入れる人や、木陰でおしゃ
べりをする人がいて、人々の憩いの場とし
て利用されています。

そして二ノ鳥居から三ノ鳥居辺りは寄
り道エリア。市立博物館には、中山道の大
宮宿の模型があり、昔のまち並みを見て、
歴史に思いをはせることができます。

竹林の奥にたたずむ「氷川の杜文化館」
には、能舞台や展示ギャラリーがあり、中
庭の日本庭園を眺めれば、静寂な和の世
界をきくと感じるはず。そこ
ところで、二ノ鳥居は明治神宮から移
築された、日本最大の「木」の鳥居だとい
うこと、ご存じでしたか？



「遠方からも人々が訪れ、歩きたくなる道にしたいですね」と話す『氷川の杜うるおいのあるまちづくり推進協議会』の（右から）辻益行さん、池田妙子さんと参道を担当したさいたま市都市局大宮駅周辺計画管理課の中野英明さん。



歩車分離された氷川参道。四季折々の草花やお気に入りのスポットを探しながら、ゆったりと歩けるようになりました。